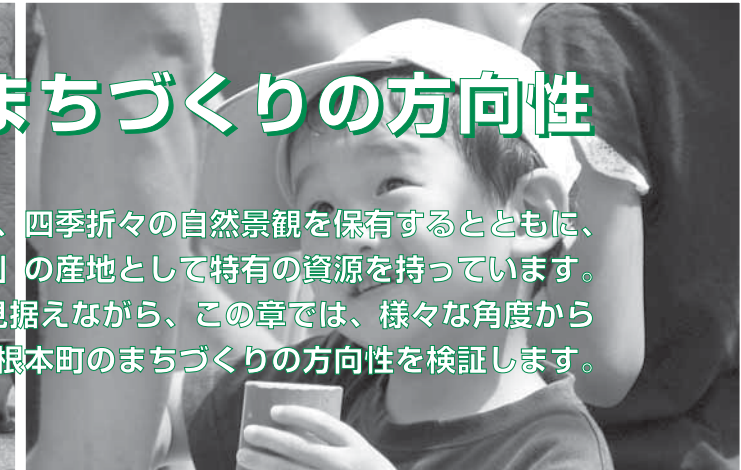




まちづくりへのアプローチ。



第1次川根本町総合計画にみるまちづくりの方向性

本町は南アルプスの山々に囲まれ、四季折々の自然景観を保有するとともに、日本一の銘茶「川根茶」の産地として特有の資源を持っています。川根本町の将来像を見据えながら、この章では、様々な角度から川根本町のまちづくりの方向性を検証します。

第1次川根本町総合計画 における「基本構想」

平成18年度に策定された第1次川根本町総合計画では、「水と森の番人が創る癒しの里 川根本町」豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、だれもが安心して暮らせるふるさとへの実現に向けて、次の4項目を基本方針として、まちづくりを進めていくと定めています。

優れた個性を伸ばすまちづくり

本町は、南アルプスの山々、四季折々の景観をもつ里山などの美しい自然や癒しの温泉、大井川の川霧に育まれた川根茶とその文化施設である茶室、常時運転しているSLとアプト式鉄道、音の体験ができる音戯の郷など、オンラインの優れた資源を持っています。町の優れた個性を発見し、伸ばし、小さな町であっても、日本全国や世界に輝くまちづくりを進めます。

人と文化が輝くまちづくり

本町には、日本一の「川根茶」を生産するお茶づくりの達人、美しい自然や鳥、花を愛する森の達人などの多くの人材と、歴史ある文化があります。子どもたちがこのような人々の姿や文化を学ぶことによって生きる力を養う教育の推進を図り、町民一人一人が輝き、活発な情報発信を行う、人・文化・ものの交流の活発なまちづくりを進めます。

子どもと若者を応援するまちづくり

本町の将来を担う子どもたちが遊びや体験を通して生きる力を身につけ、雇用の場の確保や交流機会の拡大を通じて若者が定住、結婚、U・Iターンしやすい環境づくりを検討、推進します。また、若い世代の子育て支援を充実し、子どもや若者を応援するまちづくりを進めることによって、高齢者をはじめすべての町民が安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます。

町民と行政による協働のまちづくり

本町は、行財政改革を推進し、住民の地域活動やボランティア活動など、町民と行政の協働によるまちづくりを進めてきました。今後も、自治自立・協働の町を目指し、厳しい財政状況のもとでさらに徹底した行財政改革や行政組織のスリム化を図り、町の活力や行政サービスの低下を防ぐために町民と行政が力を合わせ、産業や住民活動など、町全体が活気のある、自立したまちづくりを進めます。

川根本町総合計画策定のために実施した「町民アンケート」より

●まちづくりで活用したいものは何ですか？

- 住みやすい生活環境：49・3%
- 自然（南アルプスや川）：44・3%
- 川根茶などの特産品：40・8%
- 福祉施設・サービス：23・9%
- 町民のまちづくり参加：17・7%
- SL・アプト式鉄道：17・3%

暮らしやすい生活環境は堅持しながらも、豊富な自然資源や、日本一を獲得した川根茶など、この町ならではの特色を活かしたまちづくりをすべきとの意見が大半を占めました。また、行政主導ではなく、町民の皆さん自らがまちづくり活動へ積極的な参加をしたい・したほうが良いという意見も多く見られました。

●あなたが参加しているまちづくり活動は何ですか？

- 自治会活動：41・2%
- 伝統芸能や祭りなど：20・0%
- 保育所・幼稚園・学校行事：17・9%
- いきいきクラブ活動：17・5%

●また、今後参加したい活動は？

- 趣味や教養など：26・6%
- 環境保護や自然と親しむ：21・2%
- スポーツ活動：20・4%
- 伝統芸能や祭りなど：20・4%

「参加しているまちづくり活動」と、「今後参加したい活動」を比較してみると、多くの活動で、今活動しているという意見より、これから活動してみたいという意見が多い傾向です。今後、多様なクラブ活動やまちづくり活動が活発化すると考えられます。反対に、全員参加型の「自治会活動」は、今後参加率が減る可能性があります。

●この町の将来の姿を想像してみてください

- 医療サービスなどが充実：19・7%
- 自然と調和・農林業が盛ん：18・9%
- 商業が活発・働き口がある：14・1%
- 自然環境を保全した町：11・9%
- 便利で快適な町：10・6%

「将来の姿」とは、つまり「この町の理想像」です。豊かな自然環境や主産業である川根茶など、本町の誇れる部分は活かしながら、課題である生活の向上・雇用創出など切実な意見も多く見られる結果となりました。第1次川根本町総合計画は、この町民アンケート結果が基礎となり策定されています。

